

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2019-25263 (P2019-25263A)  
 【公開日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-007  
 【出願番号】特願 2017-151231 (P2017-151231)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 26 日 (2019.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

複数の信号配線を構成する第 1 パターンと、該第 1 パターンと配線長が同一または略同一である第 2 パターンと、が形成され、

前記複数の信号配線により複数の電気部品が接続された基板を備え、

前記第 1 パターンおよび前記第 2 パターンは、それぞれ、直線または略直線の信号配線を構成する第 1 形状部と、直線とは異なる信号配線を構成する第 2 形状部とを含み、

前記第 1 パターンにおける前記第 1 形状部に対応して、前記第 2 パターンに前記第 2 形状部が設けられ、

前記基板の一面に前記第 2 形状部を含む信号配線が設けられ、前記基板の他面に接続確認用の特定導体部が設けられている、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、遊技が可能な遊技機であって、複数の信号配線を構成する第 1 パターンと、該第 1 パターンと配線長が同一または略同一である第 2 パターンと、が形成され、前記複数の信号配線により複数の電気部品が接続された基板を備え、前記第 1 パターンおよび前記第 2 パターンは、それぞれ、直線または略直線の信号配線を構成する第 1 形状部と、直線とは異なる信号配線を構成する第 2 形状部とを含み、前記第 1 パターンにおける前記第 1 形状部に対応して、前記第 2 パターンに前記第 2 形状部が設けられ、前記基板の一面に前記第 2 形状部を含む信号配線が設けられ、前記基板の他面に接続確認用の特定導体部が設けられている、

ことを特徴とする。

(1) また、他の遊技機として、遊技が可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、複数の信号配線を構成する第 1 パターン（例えば配線の第 1 パターン 4 3 A K

1 0 など)と第 2 パターン(例えば配線の第 2 パターン 4 3 A K 1 1 など)とが形成され(例えば図 3 0 を参照)、前記複数の信号配線により複数の電気部品(例えば R A M 1 0 2 と C P U 1 0 3 など)が接続された基板(例えば主基板 1 1 など)を備え、前記第 1 パターンおよび前記第 2 パターンのうち一方のパターンにより構成される信号配線が、直線または略直線の第 1 形状となる第 1 形状部(例えば第 1 形状部 4 3 A K 1 0 L、4 3 A K 1 1 L など)に対応して、前記第 1 パターンおよび前記第 2 パターンのうち他方のパターンにより構成される信号配線が、前記第 1 形状とは異なる第 2 形状となる第 2 形状部(例えば第 2 形状部 4 3 A K 1 0 M、4 3 A K 1 1 M)を含み、前記基板の一面(例えば表面層 4 4 A K 1 S など)に前記第 2 形状部を含む信号配線(例えば配線のパターン 4 4 A K 1 0 P、4 4 A K 1 1 P により構成される信号配線など)が設けられ、前記基板の他面(例えば裏面層 4 4 A K 2 S など)に接続確認用の特定導体部(例えばテストポイント 4 4 A K 1 1 T P など)が設けられている(例えば図 3 1 を参照)、

ことを特徴としてもよい。

このような構成によれば、適切な基板構成が可能になる。